

セアカゴケグモにご注意ください！

セアカゴケグモ (特定外来生物)

体長約1センチで主にオーストラリアや東南アジアに生息している外来生物です。

1995年に国内（大阪府）で初めて発見され、福岡市でも2007年に発見されました。

攻撃性はありませんが、かまれると神経毒による全身の痛みや発熱、吐き気などの症状が現れることがあります。体の弱いお年寄りや幼児がかまれると、時に重篤な症状が現れる場合があります。



<メスグモと卵のう>



<セアカゴケグモ メス, オス >

メスは、体長約1cm、全体に黒く、背面に赤色の帯状、腹面にも赤色模様があります。

▶ 市内で発見されている主な場所



フェンスの隙間



ベンチの下



グレーチング
(側溝の蓋)



水抜き穴



階段の隅



窓枠の下



室外機の下



置き放しのホース

- 日当たりがよく、暖かいところで適度な隙間があるところに巣を張ります。
- 巣の特徴は、不規則で、細く粘り気のある糸が特徴です。巣は地表面の近くで多く発見されています。

▶ 気を付けること

- 清掃や花壇の手入れなど、屋外で作業するときは**手袋を着用**しましょう。
- 庭やベランダに**置きっぱなしのサンダルや長靴、巻ホース等**に気を付けてください。
- 日ごろから、クモの巣を作らせないように、屋外に放置している物の整理整頓が大事です。

※(参考)間違いやすいクモ



ジョロウグモ(国内在来種)

▶▶ もし、セアカゴケグモをみつけたら

素手でつかまない！ さわらない！

- ・素手で捕まえたり、うっかり触ったりしない限り、咬まれることはありません。

< 駆除方法 >

- ・クモは市販の家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）で駆除できます。
- ・殺虫剤がない場合は、踏みつぶしてください。

※特定外来生物は誰もが自由に駆除（殺処分）できますが、生きたまま他の場所に運ぶことはできません。
(外来生物法)

- ・卵のう（卵が入っている袋）は、外皮に覆われているため、殺虫剤の効果が薄いようですので、袋に入れて殺虫剤を噴射してから、踏みつぶしてください。

巣や卵のうが足元に付着しないように注意してください。

▶▶ 咬まれたときは

- ・咬まれたところを温水や石けん水で洗い、できるだけ早く医療機関を受診してください。
- ・咬んだクモの特定ができるよう、医療機関に殺したクモを 参してください。

持

※ 咬まれた時の症状

※ 咬まれた時、針で刺されたような痛みがあります、しだいに咬まれた箇所のまわりが腫れて赤くなります。

※ 経過は様々ですが、そのまま治まることもあれば、まれに重篤化する恐れもあります。

※ 小児や高齢者は症状が重くなる場合がありますので、特に注意が必要です。

▶▶ セアカゴケグモに関するお問い合わせ

セアカゴケグモを発見した場合はお住まいの区生活環境課にお知らせください。

< お問い合わせ先 >

セアカゴケグモについてのご相談

東区地域整備部生活環境課

電話番号 092-645-1024

セアカゴケグモの市の対策について

保健福祉局生活衛生部生活衛生課

電話番号 092-711-4273